

令和8年度大規模地震時医療活動訓練等について

全体概要（案）

1. 目的

南海トラフ地震を想定し、「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画」（令和 5 年 5 月 2 3 日中央防災会議幹事会決定）に基づき、国、地方公共団体等が連携して、大規模地震時医療活動に関する総合的な実動訓練を実施し、当該活動に係る組織体制の機能と実効性に関する検証を行うとともに、防災関係機関相互の協力の円滑化を図る。

2. 実施日

令和 8 年 1 1 月 2 7 日（金）～ 2 8 日（土）※発災後 3 日～ 4 日後を想定

3. 訓練想定

令和 8 年 1 1 月 2 5 日（水）●時に、南海トラフ地震が発生し、静岡県、愛知県、三重県、和歌山県、徳島県、高知県及び宮崎県に甚大な被害が発生

4. 参加機関（予定）

内閣官房、内閣府、警察庁、消防庁、厚生労働省（DMAT事務局含む）、国土交通省、海上保安庁、防衛省、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、日本赤十字社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、静岡県、愛知県、三重県、和歌山県、徳島県、高知県、宮崎県ほか

5. 主な訓練項目及び実施主体

- ・地域医療活動訓練(本部運営、地域医療搬送、参集拠点設置、S C U運営等)（都道府県（支援：DMAT事務局））
- ・DMATの参集、活動訓練（DMAT事務局、都道府県）
- ・広域医療搬送訓練（内閣府、厚生労働省・DMAT事務局、防衛省、都道府県ほか）

R8年度 訓練課題

※赤字はリエゾンが直接関わる項目

1. 新EMISを活用しての円滑な本部運営とDMAT基本活動にかかる訓練実施（現状分析、情報収集、物資・搬送・診療支援、医療機関・社会福祉施設・プライマリケア・孤立集落や避難所支援）
2. 社会福祉施設の被災情報収集ならびに支援についての検証
3. 県北地域における病院籠城支援や病院避難についての検証
4. 具体的な搬送調整の検証（重症患者搬送・緊急避難搬送・需給調整搬送）
5. 県西地域の活用と受け入れキャパシティの拡大にかかる検証
6. 孤立地域の洗い出し、医療支援についての検証（特に串間等の地域における都城志布志道路開通に伴う新たな支援方法）
7. 災害時における血液透析や新生児・周産期医療の検証
8. 新興感染症などに留意した災害医療活動の検証
9. 保健医療福祉調整本部と地域保健医療福祉調整本部との連携耐性の確認（県保健所と中核都市保健所）
10. 発災超急性期からの県医師会JMATとの連携体制の確認
11. 災害時における民間船舶を活用した船舶医療活動の検証

R 8 年度 小児周産期訓練概要・検証項目（案）

1. 連絡体制の確立

リエゾン本部立ち上げ（県庁内災害医療調整本部内）
各医療圏担当リエゾンとの連携（各活動拠点本部、所属の院内災対本部）
新PEACE、小児スプレッドシートを用いた情報収集

2. 各医療圏内の被災状況、応需可能病床数の確認

一般産科施設（分娩施設）
総合・地域周産期母子医療センター（≡災害拠点病院）
小児入院対応病床数（≡災害拠点病院、一般病院）

3. 院内災対本部と各部門の連携

4. 搬送調整訓練

原則、活動拠点本部単位で調整を行う
県庁本部に依頼すべき搬送症例の検討

5. 避難所における医療的ケア児・妊産婦の情報収集・対応

市町村、保健所との連携